

丹波篠山市立西紀中学校 学習や生活に関する学力向上プラン【1年生】

【 丹波篠山市学力・生活習慣状況調査結果の概要 】

○本校1年生の全体的な状況

生活

どの設問項目においても、肯定的な回答をしている生徒がたいへん多く、全国平均と比べて、おおむね良好な結果が見られました。特によかった項目3つをあげると、「家族の支え」、「先生の支え」、「規範意識」でした。「規範意識」の具体的な内容は、「学校の規則やクラスで話し合って決めたことを守っている」、「公共の場所では人に迷惑をかけないように気を付けている」、「近所の人にあいさつをする」で、肯定率が高い状態で、全国平均をかなり上回っています。

国語

全体の正答率は、全国平均をやや越え、ほぼ同等でした。基礎の分野においては、目標値や全国の平均正答率を上回り良好な結果でした。

数学

全体の正答率は、全国平均とほぼ同等でした。領域別正答率では、「変化と関係」や「データの活用」が全国平均を上回っていました。

○本校1年生の課題と今後の取り組み

生活

全国平均と比べると、課題は、学級内でのルールやマナーに関する項目でした。具体的には、「クラスの人がふざけたり、おしゃべりをしたりして、授業に集中できないことがありますか」という質問に半数ほどの生徒が、「ある」と答えています。教師が授業内のメリハリのある規律づくりを大切に、授業に集中できる学級風土を養っていきます。

国語

活用の分野で、目標値や全国の平均正答率を下回り、課題が見られました。特に、「報告する文章を書く」問題の正答率が低く、条件に合わせて、自分で考えて書くことへの課題が見られます。今後、強みである基礎的な力を土台として、正解を求めるだけでなく、自らの考えを持つ、適切に表現していく活動を中心に、主体的な学びを目指していきます。

数学

「図形」において課題が見られました。観点別正答率では、「文字と式」「比と比例・反比例」「平均・場合の数」「データの活用」が全国平均を大きく上回っていました。「整数の性質」において課題が見られました。無回答率が全国平均より高かったので、授業中から自分で考える時間を増やしたいと思います。また、ICTを活用して図形を実際に見せたりすることで、イメージをつかみ、問題に取り組めるようにしていきます。

○保護者・校区のみなさまへ

「家族はかけがえのない存在と思う」、「家の人は気持ちをわかってくれている」、「家は心の安らぐ場所だ」と回答している生徒が大多数で、「家族の支え」を感じていることが分かります。子どもたちにとって成長を見届けてくれる保護者の方の存在は大きく、その支えのおかげで様々なことに前向きに取り組めるのだと思います。また、規範意識が高く、仲間から支えられていることも強く感じられています。今後も、「つらいことやこまったことがあったとき」に自分から周りの人を頼ってよいことを伝え、さらに豊かな人間関係の構築に努めていきたいと考えています。

生活習慣として、「朝は自分で起きていますか」の項目に「自分で起きていない」と回答した割合が高いです。中学生になり自分のことが自分でできるきっかけとして、自分で朝起きる工夫をさせてもらえると幸いです。

「感動体験」として、「学校の行事や活動の中で、あなたの心に残っていることがあります」と多くの生徒が答えています。小学校での体験が中心だったかもしれませんが、このような成功体験を積むことで自己肯定感を育て、さらなる成長につなげていきたいと考えています。保護者の方の学校行事への参加など、今後ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

友だちとのメールや SNS (LINE など)でのやりとりが全国平均より、やや頻繁である傾向があります。SNS の使い方や時間につきまして、学校でも指導を継続しますが、家庭でもルールづくりや、ルールの再確認をよろしくお願いいたします。